



●議員は原則2期8年で交代 ●議員報酬は市民の活動費 ●選挙はカンパとボランティアで

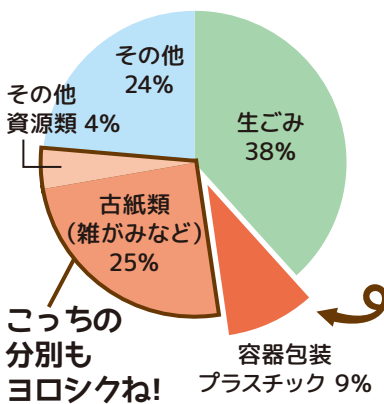
つくば・市民ネットワーク通信

発行：つくば・市民ネットワーク
Tel&Fax:029-859-0264
つくば市二の宮2-1-3クラフトビル1F
tsukubahotnet@ybb.ne.jp
http://tsukuba-net.jp



2018年10月19日 vol.56

つくば市の燃やせるごみの組成 (2009年度調査 湿ベース重量%) つくば市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画 (H22~31年度)より



つくば市の燃やせるごみの組成を
ご覧ください。今回分別できる
ようになるのは「コ」です！

これで安心して
「コ」を出せる??



現在稼働しているクリーンセン

ただいま建設中☆
「リサイクルセンター」

こんな言葉をたまに投げかけられませんか? そうです、ゴミの話です。つくば市では今のところプラスチックも「燃やせるごみ」扱いです。
……が！
いよいよ来年度から変わります。



つくば市はラクだよな!

世界中のあちこちの海岸にプラスチックが打ち上げられているのをご存知でしょうか? それだけでなく、紫外線や波の力で小さな破片になったプラスチックが、クジラなどの大型動物から小魚や貝、カメや海鳥などの胃からたくさん見つかる

海をただようプラスチック

「分かった。分別すればOKね、頑張るわ!」と思って下さったら嬉しいのですが、そもそも…何のために分別するんですって?」



新しく資源として回収されるのはこのマークがついている容器や包装です。

ターのとなり建設中のこの施設は、名前のとおり「リサイクル」に重点をおいています。容器包装プラスチック分別が始まる他、カンもビンも今までより高性能の選別機を設置してリサイクル率のアップを狙います。加えて、まだ使える家具を修理して使えるようにする再生工房もあり、再資源化だけでなく再利用にも取り組む施設になります。

つくば市議会 9月定例会

「東海第二原発の再稼働を認めない」意見書を可決!!

今年11月28日に寿命40年を迎える東海第二原発。日本原電は20年の延長申請を行い再稼働しようとしています。これに対つくば市議会は、国県に向け意見書提出を決議しました。

再稼働には地元5市1村(水戸・日立・ひたちなか・常陸太田・那珂・東海村)の首長と知事の判断が必要で、住民の意思の表明が大きな鍵となります。

全国一の密集地(30キ口圏内96万人)の避難は不可能であり、市民ネットは、これからも再稼働させないためのあらゆる活動に取り組めます。



住宅地に隣接する東海第二原発

プラスチックの使用そのものを減らす動きもあります。日本でも一部有料化が進んでいます。レジ袋規制については60カ国以上で取り組みがあり、使用禁止・有料化・課税の措置がとられています。そしてもう一歩踏み込んだ対策を講じるのはフランス。2020年1月から使い捨てのプラスチック製カップやストロー・皿などを禁止する法律が施行されます。日本では国の規制は未だないものの、一部企

脱プラスチックの取り組み

つています。(細かな破片はマイクロプラスチックと呼ばれ、プラスチックが捕食できるほどの小ささ!) このまま何も手を打たなければ、海に流入するプラスチックの量は20年後には10倍になるそうです。



東京・荒川 東京農工大学高田教授提供、2016年5月撮影

ゴミを減らすための3R

優先 ↑
Reduce (削減)
Reuse (再使用)
Recycle (リサイクル)

さらに Refuse (拒否) を加えた4R
Repair (修理) を加えた5R
とも言われます。たくさんの「R」に取り組んでくださいね♪



これに機会に、「ゴミを減らす」ことについて家族やお友達と話し合ってみてくださいね。

リサイクルは ゴールじゃない

業にプラ製ストローの使用を自粛する動きが出てきました。

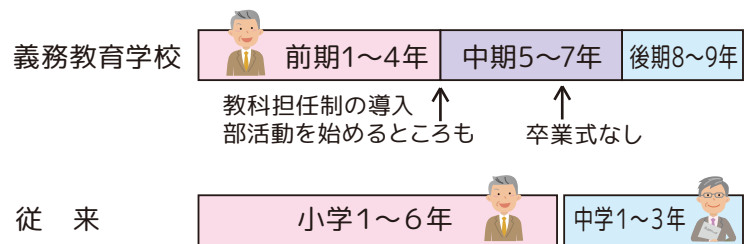
話は戻って。つくば市で来年度から始まる容器包装プラスチック分別ですが、リサイクルするには費用もエネルギーもかかります。わざわざコストをかけてリサイクルするより、ゴミを減らす「使い捨て」の使用をできるだけ減らす「この方が合理的です。」

「小中一貫教育」の検証が行われましたが、その結果は？

つくば市の小中学校には、“施設一体型”小中一貫校と、学校施設は小中そのままで運営を一体とした“連携型”小中一貫校とがあります。2016年に学校教育法が改正され、「義務教育学校」という新しい制度ができてからは、今年度開校した3校を含め施設一体型は「義務教育学校」となりました。（すなわち、つくば市においては“施設一体型小中一貫校”＝「義務教育学校」です）

*義務教育学校9学年の区切り

※ 設置者が設定できるがつくば市はおおよそ「4・3・2制」



今回、教育長の諮問で「小中一貫教育」の効果や課題を検証するための教育評価懇談会が立ち上げられ、調査・検討が行われました。その結果が今年の7月に教育局に報告されています。この結果をどう生かしていくのか？質問しました。

●新たにでてきた小6問題

そもそも小中一貫教育を進めていくメリットとされてきたことに「中1ギャップの解消」が言われてきました。しかし、子どもに対して行ったアンケート調査では、とくに施設一体型の6年生に、子ども同士や教師との対人関係・レジリエンス（くじけず負けない力）等において自己評価が低く、「中学校は期待していたより楽しくない」とする傾向が見られました。

6年生は従来の小学校では最高学年です。児童会や運動会などあらゆる場面で責任のある役割を任されることで主体性が育まれ、自信を持って中学生活に臨むことができます。しかし、義務教育学校では9年生まで同じ学校で、6年生が通過点でしかなくなるためか、このような小6問題の傾向が出ることが示唆されました。

そこで今後どのような取り組みをしていくか質問したところ、6年生がもっと活躍できるような場面づくりを総合的に計画していくし、すでに現場では一部取り組みを始めている、という答弁でした。

また、義務教育学校では6年生の終了時に継志式（卒業式）がありません。「卒業式をして欲しい」という保護者の声は多く、検討を要望しました。

●教育環境の悪化を招く大規模校化

今回の検証では、春日学園開校当時に、学区の線引きに自由度を持たせたことが原因で大規模校化を招いてしまった点も指摘されました。新しい学校に保護者の期待が高まり、入学・転校の希望者が多く出たと考えられます。施設一体型はただでさえ小中を合わせた大人数になるので、校庭や図書室の使用に制限がかかるなど、子ども達に窮屈な思いをさせてしまいました。今後は、学校の「適正規模」という点を十分検討するところから議論を始めて欲しい、と要望しました。

市のHPに検証報告が公開されています。ぜひご覧になってください。

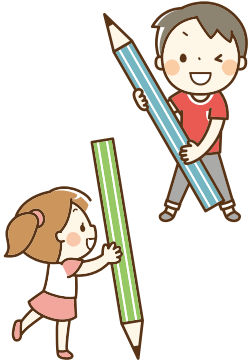


つくば市議会議員
文教福祉委員

小森谷さやか

一般質問項目

- ・小中一貫教育の検証結果及び学校等適正配置計画
- ・幼稚園・保育施設等における子どもの安全
- ・エネルギーの地産地消



老朽化が進む、学校プールのあり方検討を！



つくば市議会議員
総務委員

皆川ゆきえ

一般質問項目

- ・学校プールの在り方
- ・運動部活動の運営方針
- ・学校における働き方改革
- ・地域包括ケアシステムの現状と課題

今年につくば市内でプール老朽化による破損が相次ぎ発生しました。

現在市内には、新しく建築された義務教育学校4校を除き、小学校と中学校合わせて、プールは40カ所もあります。そのうち、学校建設の築後40年未満が11校、40年以上50年未満が24校、50年以上が6校あります。学校プールの多くが建設から年数がたっており、対策が必要です。そこで今回質問したところ、**学校プールの老朽化対策の計画は作っていない**ということがわかりました。

●民間プールの活用

千葉県佐倉市では、老朽化対策の観点から、学校プールの30年間のライフサイクルコストを計算し、学校プールを廃止して民間プールを活用し、利用料や送迎のバス代を支払ったほうが、老朽化したプールを改修するよりもはるかに費用を削減できるという試算結果が出ました。

そこで、佐倉市はまず小学校2校で民間プールの利用を開始しました。児童や先生がスイミングスクールのバスで移動が必要ですが、専門のインストラクターの指導もあり、より泳ぐ力がつくと児童や保護者に好評だということです。

実は、つくば市でも豊里中は学校プールを廃止したため、民間のスイミングスクールで水泳の授業を行っています。また、昨年までは筑波東中が市営のウェルネスパークのプールを利用していました。このように市内でも学校以外のプールの一部利用は始まっています。

つくばには、公営の花畑近隣公園、二の宮公園、洞峰公園プールもあり、これらも上手に授業に活用していくことも可能ではないでしょうか。

●学校プールを市民に開放

また、牛久市のひたち野うしく小学校では屋内プールで天候に左右されず授業が行われています。

授業を行っていない時間帯には住民に開放され、健康増進に寄与しています。子どもたちにとっては、猛暑日の夏休みに室内でゲーム等で過ごすよりも、自分の足で行けて体を使いながら遊べる居場所として、プールは大変適しています。

以上の様々な観点から、**学校プールのあり方を検討するよう提案**しました。



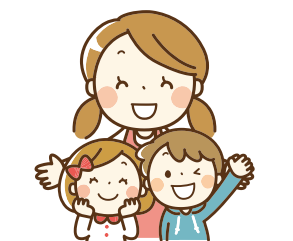


つくば市議会議員
都市建設委員会副委員長

宇野 信子

一般質問項目

- ・公有地の利活用
- ・障害児と家族を支える施策
- ・緑豊かな街並みの維持と道路整備



学校跡地等の活用は？ 障害児家族の支援を

1. 筑波地区の小中学校統廃合で廃校になった学校跡地の利活用について、現状と今後の進め方は？

民間ニーズ調査、市民や団体等、市役所各部署からの要望を整理して説明会を行った。参加者から地域コミュニティの活動拠点などの意見も出た。今後は、学校ごとに整理した資料を作り、小学校区ごとに意見交換会等を実施して、活用に向けた検討を進めていく。

2. 高エネ研南側未利用地（旧総合運動公園予定地）の利活用について、現状と今後の進め方は？

サウンディング型市場調査※を行い、複合型商業施設、植物工場、農場併設メガソーラー、ランニングパーク等の提案があった。市民や団体からは公共施設、公園施設、福祉施設等の要望が出ている。現在、土地利用方針や処分方策、事業手法等の検討調査を行っており、事業手法ごとに概算費用を算出する予定。年度内に取りまとめ、議会や市民へ説明していきたい。年3000万円強の利子がかかっており、早く解決する必要があるが、透明性を確保し、市民との情報共有を丁寧に行いながら進めるよう、要望しました。

3. 障害児の家族に必要な支援は色々あるが、赤ちゃんが長期入院になり、付き添わねばならないため、兄弟児の保育が急に必要になった時、利用できる制度や相談体制はどうなっているか？

保健センターの保健師に相談してもらえば、内容に応じて適切な専門機関に繋ぐ。母子手帳発行時やマタニティサロン、赤ちゃん訪問時に周知していく。家族の看護が必要になった場合、兄弟児の保育所入所は、診断書等があれば申し込みできる。また、急を要する場合は保育所の一時預かり事業や、児童養護施設で一時的に養育できる子育て支援短期養育事業もある。それらの制度が市民に知られていない。出産後に困った場合に使える制度一覧を作って、関連窓口や病院とも共有してはどうか。相談窓口一覧を保健センターや窓口センターに置いているが、病院等にも使ってもらえるよう対応していきたい。

※サウンディング型市場調査：行政内部だけで活用方法や公募条件を設定するのではなく、活用意向・アイデアのある民間事業者と対話（サウンディング）することで市場性等を検討する調査。

公募委員、次々。進む市民参加

●市の会議に、市民公募が頻繁に行われるようになりました！

市民ネットは、立ち上げの時から「私たちの生活は政治と直結している、その政治をお任せにしないで、自らが担い手になろう」と市政への市民参加を進めてきました。五十嵐市長になり、公募の市民委員を原則3割含める市民参加の要項も定められ、参加チャンスは格段に増えています。今年8月末までに13の審議会等に92人の市民の応募があり、45人が市民委員に任命されました。ある審議会では、7人の市民委員の募集に22人も応募があったとのこと。

でも…勇気を奮って市民委員になってはみたものの、専門用語や膨大な資料に目が点になったり、「難しい〜！」「質問するのも迷惑かけそうで、ちょっと…」と戸惑いの声も届いています。そこで、市民委員の役割や今後の課題について聞きました。

市民委員の役割については「市民目線の様々な意見をもらうことで、専門家や行政では気付かない市民の声を政策議論の場に反映できる」また、課題については「募集定員に満たない時もあり周知方法を工夫する」「十分な情報提供や発言しやすい環境づくりも必要と考えている」との答弁でした。

●専門家でない市民が、率直な意見を発言しやすくするには…

昨年、ある懇談会を傍聴していたら、座長の素晴らしい采配ぶりに出会いました。

その懇談会は、市民公募3名を含む計10名の委員で、学識経験者や専門家により専門用語が飛び交っていました。そのような中、座長が逐一、平易な言葉に置き換え、委員間の共通理解を図りながら進めていました。『これなら専門家でなくとも話題についていける！』と思うのと同時に、市民委員からも率直な意見が述べられ、議論が深まっていったのです。

その経験から、市民委員が発言しやすいような進进行を、担当課から座長に求めるよう要望しました。また、今後どうすれば市民委員がもっと意見が言いやすくなるのか、参加しやすくなるのかについて、市民委員を経験した人たちが話し合う場を設けるよう提案しました。

つくば市では、市民委員の募集予定がHPで公開されています。直接市政に参加するチャンスです。ぜひ応募しましょう！



つくば市議会議員
市民経済委員会委員長

北口ひとみ

一般質問項目

- ・指定管理者制度
- ・市民公募



2018年9月議会議決結果

※「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願」は全会一致で採択されました。

議決の結果 (○：賛成、×：反対)		会 派 名	つくば・市民ネットワーク	自民つくばクラブ・新しい風	つくば政清会	つくば市民政策研究会	公明党	日本共産党	新社会党	筑峰クラブ	創生クラブはがくれ	山中八策の会
東海第二原子力発電所の再稼働を認めないことを求める意見書	可決		○	× ○：ヘイズ	○	○	○	○	○	○	×	
入札制度の改革にあたり4％幅のランダム係数導入を求める決議	可決		○	× ○：ヘイズ	○	○	○	○	○	×	○	
各会派の所属議員(敬称略) ※は会派代表 (議員数28 議長：塩田)			*宇野、北口 皆川、小森谷	*小久保、久保谷 ヘイズ、五頭 神谷、黒田、長塚	*塚本、大久保 木村修、木村清	*須藤 柳沢 高野進	*小野 浜中 山本	*滝口 橋本 山中	*金子	*鈴木	*高野文	*塩田 (議長)

決議の解説：一般競争入札では、品質確保のため最低制限価格を設定し、それ以上かつ最安価格で入札した事業者が落札します。近年、多くの自治体で価格情報などの漏えい防止のため、無作為抽出した数値(ランダム係数)を用いて、開札当日に最低制限価格を決め、公正性・透明性確保の工夫をしています。今回、つくば市で1％幅のランダム係数導入の提案があり、より効果の高い4％幅のランダム係数を用いるよう決議しました。



主な活動報告

- 7/19、8/23、9/13 Tsukuba Thursday Gathering
～スタートアップ推進イベント～参加
- 7/21、22 全国市民政治ネットワーク交流集会参加
- 7/22、8/1、4、19、9/16 原発県民投票を考える学習会参加
- 8/1 地方議員セミナー
「待機児童・保育士不足問題と地方行政」参加
- 8/3、19、21 議員と話そう会開催
- 8/25、26 自閉症カンファレンスNIPPON参加
- 8/31 多核種除去設備等処理水の取扱いに係る説明・
公聴会参加
- 9/1 東海第二原発再稼働ストップ茨城県大集会参加
- 9/4～9/28 9月定例市議会
- 9/29 「世界的な海洋プラスチック汚染の現状」参加
「ゲノム編集に規制は必要か」参加
- 10/3 国立公文書館視察
- 10/9、11、14 クレオに関する市民説明会参加
- 10/10～12 決算委員会

※テーマごとの部会活動の他、市の各種委員会・審議会等も
多数傍聴しています。

インターン体験記

つくば・市民ネットワークでは、若年投票率の向上を目標に活動する
NPO法人ドットジェイピーの、学生を対象とした議員インターンシッ
ププログラムに協力しています。これは、議員と行動を共にし、政治
と社会のつながりを知る体験学習プログラムです。今回参加した3
人の大学生に、感想を聞きました。

今回、議員インターンを行って数多くの貴重な体験をさせ
ていただき、「議員」に対するイメージが変わりました。今
までの議員のイメージは「議会に参加する」「選挙をする」
というもののしかなかったのですが、実際に住民の方々の意見を
聞いたり、勉強会を企画したり、イベントに参加したりと自分が今ま
でに気付かなかったところで多く活動されており、身近に感じました。
私は将来政治に関わる職業に就きたいと考えているので、今回のイン
ターンを通じて少し将来の仕事像が見えたと思います。(N・H)

私はインターンをする前、政治は手の届かないもの、自
分には関係ないものだ…と思い、何もしない姿勢でした。
しかし、インターンを体験し、市民の意見を市に届けるた
めに活動される市民ネットの皆さんの姿を見て、政治とはこれほど
までに身近なものなのかと驚きました。もちろん、政治はとても難し
く、理解できないことも多くありました。しかし、これからは、だから
と言って、何もしないのではなく、どんな小さなことでもいいので、自
分にできることをやってみようと考えようになりました。(Y・H)

実習する前、私は政治が遠いことだと思っていました。今回
の実習を通して、多くの市民の意見を聞き、議会も傍聴し、
私は議員の仕事と議会の流れに対して理解できました。
議員としての使命感と責任感がなければならぬ大変な仕事だと思
いました。私は日本語の勉強中なので、内容を十分理解できなかつ
たのですが、以前は考えなかったことを考えました。そして、今留学
生として自分の力は小さいけれど、生活している都市のために自分
の考えと力で貢献したいと思っています。(C・S)

国政にうんざりしているあなたへ

“市民とともに作る自治体”の知恵と実践

つくば市では昨年来、審議会等の公開条例、市民参加推進に関する指針などがつくられ、市民公募委員
が3割参画するなど、市民が市政へ参加する環境が大幅に整えられています。自治体の憲法と言われる
自治基本条例づくりを含め、市民の手によるまちづくりについて考える時が来ています。

今回は、「最先端の自治がまちを変える 人口減少社会へ24の提
言」の著者であり、元我孫子市長として、徹底した市民参加を進めた
福嶋浩彦さんにお話しいただきます。これからのつくば市に必要な
ものは何か？ 多くの方のご参加をお待ちしています。

12月1日(土) 13:30～15:30
つくば研究支援センター 会議室A
(つくば市千現2-1-6)

ふくしま ひろひこ
講師：福嶋 浩彦 さん

お問い合わせ TEL 029-859-0264
tsukubahotnet@ybb.ne.jp

入場無料

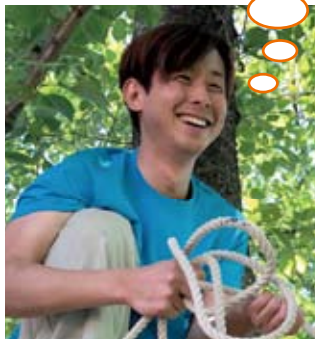


福嶋 浩彦さん
中央学院大学教授
元我孫子市長
元消費者庁長官



「つくばdeプレイパークひろめ隊」が今年も講演会&プレイパークを計画しています。昨年ひろ
め隊は「つなげよう！つくばで外遊び」と銘打ったフォーラムを開催、100名以上の参加がありまし
た。そして動き出したつくばでのプレイパーク。中央公園での活動をご覧になった方も多いのでは
ないでしょうか。世の中はAIに仕事を奪われる、2020年に大改革が予定されている教育、など不安
な要素だらけ。でも、ひろめ隊はそんな時代だからこそこの「遊び」を一緒に考え実現したいと活動し
ています。ずばり今年のタイトルは「“遊び”こそ天才を育てる」。放課後や児童館での遊びを多く
仕掛けてきた講師と一緒に遊び、聞き、考える一日に。ぜひご参加ください！

僕の活動は、子どもたちに
「自分で考えて、自分で決める
自由な時間」を返してあげること
が目的です。



と き：11月18日(日)

10:00～15:30 プレイパーク (小雨決行、荒天中止)

13:30～15:30 講演会

ところ：松代交流センターとその前の広場

講 師：廣川和紀氏 (日本冒険遊び場作り協会・災害対策委員)

参加費：講演会は¥200、プレイパークは無料

主 催：つくばdeプレイパークひろめ隊

プレイパークには、プレイリーダー(見守りの大人)がいますが、
幼児は大人同伴でご参加ください。

午前中は、講師の廣川氏もプレイパークと一緒に遊びます。

申し込み、お問い合わせは 298playpark@gmail.comまで

議員と話そう!会

定例市議会の報告を兼ね、代理人(市議)の
北口、宇野、皆川、小森谷を交え、様々な情報と
意見交換を行います。お気軽にご参加ください。

11月14日(水) 14:00～16:00 つくば・市民ネットワーク事務所

11月15日(木) 10:00～12:00 ふれあいプラザ(下岩崎2164-1)

11月16日(金) 18:00～20:00 吾妻交流センター 大会議室